

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

□大会第13日目 7月29日(水)

準々決勝	仙台市民球場	2時間 31分	打安点盗犠四三残失併
柴田	1 0 0 0 0 0 0 0 0 2	0 0 2	【柴】 30 3 3 1 3 3 8 6 0 0
仙台育英	0 0 0 2 1 0 0 1 ×	0 1 ×	【仙】 30 8 4 1 1 2 4 5 3 0
(球) 野田 学 (一) 大槻 充夫 (二) 山館 浩樹 (三) 嶋田 志昭			▽本塁打 向坂(仙)
【柴】 佐々木, 古山			▽三塁打 なし
【仙】 向坂, 菅原, 尾形			▽二塁打 なし (柴)
▽暴投 向坂2(仙), 菅原1(仙)		▽捕逸 小野寺1(仙)	佐々木 (仙)

【評】

第1シード仙台育英と柴田の一戦。接戦となった試合は4-3で仙台育英に軍配があがった。柴田は1回表仙台育英先発の向坂の初球を1番岩間が左前安打で出塁すると、2番佐藤の犠打と捕逸で一死三塁の場面をつくと3番阿部蒼のスライズで先制した。

1点を追う仙台育英は4回裏3番佐々木の左二塁打で好機をつくと二死三塁から5番向坂の大会18号となる右越2点適時本塁打で逆転した。続く5回裏には7番鈴木遊の遊安打と盗塁、四球で好機を広げ二死一二塁から2番宮本の中前適時打で1点を追加した。

粘る柴田は4-1でむかえた9回表代わった仙台育英の菅原から、失策と四球・暴投で無死二三塁の好機をつくと6番代打の伊藤の内ゴロ間、7番代打の二適時安打で2点を挙げ1点差まで追いついた。あと一歩及ばず、悔しい敗戦となった。

準々決勝	仙台市民球場	1時間 56分	打安点盗犠四三残失併
東北	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0	【東】 29 4 0 0 1 1 8 4 1 0
東陵	0 2 0 0 0 0 1 0 ×	1 0 ×	【東】 33 9 2 0 1 2 4 9 0 1
(球) 三浦 徹 (一) 高橋 勝 (二) 毛利 晃 (三) 小松 宗夫			▽本塁打 なし
【東】 小野寺, 岩崎, 山本, 萱原			▽三塁打 なし
【東】 佐藤 柳			▽二塁打 なし (東)
▽暴投 山本(東北) 1		▽捕逸 なし	宍戸 (東)

【評】

第5シードから順当に勝ち上がった東北と好投手・佐藤(柳)を擁し第2シード仙商を破り、波に乗る東陵の宮城の私学を代表する雄同士の準々決勝となった。

東陵は2回、死球と安打を絡め好機を作り内野ゴロと9番・佐藤(柳)の右前適時打で2点を先制した。また、7回には2番・村上と3番・宍戸の連続安打から好機を作り、暴投から貴重な3点を挙げた。

一方、東北は4投手の継投により、最小失点で凌いだ。打線が繋がらず得点には至らなかった。この試合も東陵の佐藤(柳)は、強力・東北打線を4安打8奪三振で完封し、ゲームを圧倒的に支配した。これで佐藤(柳)の連続無失点イニングは31となった。

準々決勝	石巻市民球場	2時間 17分	打安点盗犠四三残失併
古川工業	0 0 0 1 2 0 0 0 0	0 0 0	【古】 32 9 3 0 4 4 3 10 4 1
仙台一	1 0 0 0 0 3 0 1 ×	0 1 ×	【仙】 30 5 2 3 0 7 7 8 2 2
(球) 佐藤 圭 (一) 平岡 勲 (二) 高橋 弥寿仁 (三) 手塚 仁基			▽本塁打 なし
【古】 岩崎, 小関			▽三塁打 山口(仙)
【仙】 篠村, 奥山			▽二塁打 小関 (古)
▽暴投 小関1(古), 篠村1(仙)		▽捕逸 なし	唯野 (仙)

【評】

一高は一回裏2番山口が右翼線三塁打で出塁、4番唯野が四球で出塁し2盗の間に、捕手の送球が悪送球となり先制した。

古工は一高先発篠村に3回まで散発3安打に抑えられていたが4回表3番岩崎、4番板垣の連続四球、暴投と5番齋田の左前打で追いついた。5回にも一高2番手奥山から8番小川の左前打、9番水戸の犠打野選、1番高橋凌の中前打、2番小野のバント安打で2点をあげ逆転した。

一高は6回古工2番手小関から3番三好の内野安打、唯野の右翼線二塁打、暴投と盗塁、投手の三塁への悪送球で3点をあげ再逆転すると、8回にも唯野の四球、5番小池の左前打、ショートエラーで1点を加え、追いつく古工を突き放した。5回から登板したエース奥山は6回以降古工打線を2安打に抑え準決勝進出をはたした。

準々決勝	石巻市民球場	2時間 15分	打安点盗犠四三残失併
利府	0 0 0 0 0 1 0 0 0	0 0 0	【利】 28 4 1 0 1 5 9 6 1 0
仙台	1 0 2 0 2 0 0 0 ×	0 0 ×	【仙】 28 7 5 3 3 5 13 7 1 3
(球) 武田 徹 (一) 菅原 幸 (二) 細川 和行 (三) 高橋 正博			▽本塁打 なし
【利】 茂木, 仁田, 小森			▽三塁打 なし
【仙】 鎌田			▽二塁打 なし (利)
▽暴投 鎌田1(仙台)		▽捕逸 日野1(利府)	坪田, 加藤2 (仙)

【評】

5対1で仙台高校が勝利した。

仙台高校は初回先頭金井が四球で出塁すると、2番西野の犠打で一死二塁とし、3番坪田の中前適時打で先制した。3回には1・2番の2連続安打で3点差とリードを広げた。

その後、5回にも2点を追加し、相手を引き離れた。

利府高校は初回と3回にチャンス場面はあったが、二度とも併殺打で生かせず、6回四球と安打で一点を返すのみに終わった。

仙台高校主戦の鎌田は序盤に直球の制球が定まらず苦しみ5四球を与えたが、最終的には9奪三振と利府につけ入る隙を与えなかった